

モロモロスポーツ

黒船来襲！マックロクディまず一冠！

完勝 第一モロモロ記念(G)が6月17日、上柚木

競技場で開催され、ケニア生まれのマックロクディが自己

ベストの4分17秒29を叩き出し、7馬身差で圧勝した。

外国産初勝利 マックロクディと同じケニア生まれのクドウ

騎手は語る。「キョウハチョウシモヨカッタシ、ハンデニモ

メグマレテイタノデカテルトオモイマシタ。キョリニファンハ

アリマセンデシタ。」

怪物 モロモロ記念には連闘で参加。前週には24時間リレー

で好成績をあげている。疲労を見せないそのタフな走りは新たな

怪物誕生の予感をさせる。英雄ディーブインバクトの跡継ぎとは

決して言い難い。それでも、力があることを証明した。

雪辱の秋へ 秋にはEAST JAPAN EKIDEN(G)が待っている。

昨年惨敗した舞台で雪辱を晴らすことが出来るかどうか。「キョウ

ハアコガレノヒトガイナイナカハシレタノデ、エキデンハオウエン

ニキテホシデス。ソウスレバクカンショウモネラエマス。」クドウ

騎手は笑顔で応えた。今の充実度なら可能性は十分ありそうだ。



日本を震撼。圧勝のマックロクディ(撮影・伴卓磨)

上柚木第11R 第一モロモロ記念(G)トラック1500m 10頭 良

アラカルト

⑥マックロクディ

騎手 クドウ

父 カネヒサベケレ

母 キャサルンヌドロバ

牡24

生産者 ケニアファーム

戦績 5000m15'51"

モロモロ記念(G)

ブラックカップ(G)

ケニア記念(G)

着順	馬名	性別	ハンデ	騎手	タイム	着差	オッズ	人気	票数
1	マックロクディ	牡24	20秒	クドウ	3分57秒35		16.2		7
2	タクママックス	牡25	0秒	伴(卓)	4分04秒17	7	3.7		20
3	イワサマヨンサマ	牡23	25秒	岩田	4分04秒69	1/2	65.1		4
4	イワサタイヤオー	牡26	10秒	岩佐	4分05秒52	3/4	112		3
5	フタツキラキラボシ	牡22	20秒	二木	4分06秒87	1 1/4	20.1		6
6	タマタマクロス	牡22	30秒	玉井	4分10秒30	3 1/2	68.9		4
7	セイケイテイオー	牡25	0秒	柿沼	4分11秒68	1 1/2	11.7		9
8	ユーキキングオー	牡23	40秒	伴(友)	4分13秒32	1 3/4	2.2		29
9	ゴッドインバクト	牡26	13秒	要(神)	4分14秒89	1 1/2	67.4		4
10	ヌマツプリンセス	牡23	25秒	沼田	4分20秒66	5	35.5		5
取消	ユーチャンマキバオ	牡22	30秒	高橋					

ゴッドは飛ばず・・・「原因はわからない」:要(神)騎手

今日の一言

<イワサマヨンサマ=3着> 岩田騎手 軽ハンデを生かして乗ることが出来た。2着まで

はいけた可能性があった。最後は失速せずに伸びて今後が楽しみ。次は勝ちに行く。

<タマタマクロス=6着> 玉井騎手 少し前と差が開いて追走に手間取ってしまった。

秋には復活して、ファンの皆様の良いレースをお見せしたい。目標は東日本実業団。

<フタツキラキラボシ=5着> 二木騎手 人気通りの結果。調整が遅れていた

ので今回の結果は仕方ないです。短期放牧に出した後の巻き返しを図ります。

<ゴッドインバクト=9着> 要(神)騎手 何故か今回は飛ばなかった。ゲート

入りを少し嫌ってしまい出遅れてしまった。疲労もあったのかな。秋に期待する。

トラッグの失速王 ユーキングオーが帰ってきた

目標はあくまで世界！？

稀代の人気馬がトラックに帰ってきた。実に2年半ぶりの復帰戦で堂々の一番人気。ユーキングオーの人気の高さは計り知れない。レースこそ後方のまま、ラストで失速、8着という結果に伴(友)は「今日は負けたけど、手応えは掴んだ。次は勝てる。」と気落ちしていない様子。SEKISU 家厩舎から自販機厩舎に転厩して、順調に調教が積めるようになっており、秋の復活の可能性は十分だ。「この馬は日本には留まらない。目標はあくまで世界。今は通過点に過ぎない。」という伴(友)の言葉は笑ってしまう。次こそ誰もが大笑するようなレースを見せてくれるだろう。

専門家 KANAME が切る！！

ユーキングオーはいつものレース展開。もう少し腐るのをやめて、調教すればもう少しは強くなるのではないかな。今のままでは永久に失速王ですね。



久々の復帰戦、ユーキングオー(撮影 伴卓磨)

トップハンドの明と暗 タクママックス奮闘2着 セイケイテイオー失速7着

トップハンドの二頭の明暗くっきり。2番人気のタクママックスは勝ったクディには離されたものの、ラスト鋭伸で叩き合いを制し2着。セイケイテイオーは直前の体調不良のせいか、後半伸びを欠き7着と敗れた。タクマ鞍上の伴(卓)は「今回はステップレース。目標は来週の千葉記念。内容には満足している。」と語った。失速したセイケイテイオー鞍上の柿沼は「調整ミスです...。」と言葉少なだった。実績は抜群の両馬、変わり身が期待される。



先頭争いをするマックス&テイオー(撮影:伴卓磨)

タイヤをなめるな！！ 最低人気イワサタイヤオー 激走4着！！

実績馬タイヤオーが意地の4着。まさかの最低人気、陣営も気合いが入ったに違いない。「この馬が最低人気なんてありえんですよ！！ご覧の通り力はあるんです。秋はもっと大きい所を狙わせませう。まあ見て下さい！！」岩佐騎手は叫んだ。

実績は抜群。自己記録である3分57秒は出走馬中2番目。今回のハンデもきついとは言えず激走の予感十分あった。2着タクママックスとはほんのわずかの差。「秋はもう一花咲かせますよ。」陣営の言葉に嘘はない。



後方待機のタイヤオー(撮影:伴卓磨)

今日もヌマツタ

ヌマツタプリンセス大差のシンガリ負け。穴人気に押されていたヌマツタプリンセスだがブービーから大差のシンガリ負けで終戦した。鞍上の沼田は「今日はいつものヌマツタではありませんでした。最近では調教不足が続いていたが軽ハンデだったしある程度は戦えると思っていた。また一から出直します。」とうつむきながらつぶやいた。名門の赤学厩舎に所属しており、秋の上積みを目指したい。

秋戦線はどうなる?? 文:じゅんたん

今回のマッククディはまさに100点のレース。強豪ひしめく中、あれだけの走りが出来れば秋への期待が高まる。秋のEAST JAPAN EKIDENでは別世界の強豪に挑むが、今のクディなら、同じケニア出身の現役最強馬であるマサイゲテオンとも互角に戦える。また、今回参戦しなかったエチオピア出身のスピードロスター、ネッケツティーチャーは元からの実力馬。さらに新星ワカナオサカナオーは出走権こそないものの一番の伸び盛り。最強馬が激突するEKIDENは非常に見応えのあるレースとなるだろう。